

令和4年6月15日

=校長室だより=

西紫原小学校長

子供たちのあいさつについて

いよいよ梅雨に入りましたが、毎朝子供たちは傘をさして元気に登校しています。地域の方々も、子供たちの登校を見守ってくださっており、ありがたく思っています。私は4月に赴任いたしました。登校を見守ってくださる方々に自分から元気に挨拶をすることができる子がやや少ないかなという印象を持ちました。雨の日であっても登校を見守ってくださる方々に、感謝の気持ちを込めて自分から元気に「おはようございます。」と挨拶をすることは必要なことです。

現在学校では、担任が子供たちに元気なあいさつを呼びかけたり、各クラスで「あいさつがあふれる西小にするためにはどうすればよいか。」を話し合ったり、生活安全委員会の子供たちが正門に立ち、登校する子供たちに「おはようございます。」と元気な声であいさつをしたり、放送委員会の子供たちが「自分から進んで挨拶をしましょう。」と呼びかけたりと様々な取組を行っています。

しかし、挨拶をしないことを厳しく叱責したり、強制したりすると「挨拶をするとお互いに気持がよくなる。」という一番大切なことを子供たちが感じ取れなくなってしまう

「おはようございます。」「さようなら。」「おやすみなさい。」「いただきます。」「ただいま。」などの挨拶が日常のごく当然のように行われている環境の中にあることで、子供たちの挨拶に対する意識は自然と高まっていくものです。

そのために、まず私たち大人が率先して挨拶をする姿を子供たちに見せてあげることはとても大事です。

ご家庭でも、「行ってらっしゃい。」「いただきます。」「おはようございます。」「おやすみなさい。」等の挨拶が自然と行われる雰囲気をつくってあげてください。

4月の頃より少しずつよくなっている子供たちの挨拶が、一層よくなるようにご協力ください。



【第二土曜日に子供たちの登校を見守ってくださるおやじの会の皆さんも、「おはようございます。」と声をかけてくださっています。】